

白馬高校

断熱改修プロジェクト に参加して



城東

● 城東地区 ●
1943 世帯
男 1755 人
女 1869 人
合計 3624 人
R3.11.1 現在



昨年の9月に白馬高校での断熱改修プロジェクトに参加してきたので、その様子をお伝えするとともに、城東地区内・松本市内において、既存の建物で断熱性能がもう少しといった学校や公共施設などがあれば、地域の皆さんが協力しあって実施できないかと思いい、公民館報で紹介したいと思います。

外に面した窓は、二重サッシでしたが、天井裏や外壁の中には断熱材が入っておらず、冬期の暖房設備としては一つの教室に設置された1台の石油ストーブのみであったため、教室内の隅々まであまり温まらず、かつ熱がすぐに逃げて

しまい、寒さに耐えながら授業を行っていた状況でした。地球温暖化防止・SDGsに向け積極的に活動する国際観光科の3人が、白馬高校の先生に教室の断熱改修を相談したところ、生徒たちの思いを何とか実現させたいと、先生から教育委員会に粘り強く交渉していただきました。その結果、白馬地域の団体「Hakuba SDGs Lab」の協力もあり、白馬高校の生徒達と地域の大人たちも協働で、昨年9月の3連休に国際観光科教室の断熱改修プロジェクトをワークショップ形式で実施することができました。

参加した白馬高校の生徒たちがそのお手伝いを行った様子です。参加した白馬高校の生徒たちと生徒の活動に協力した大人たちは、3日間の断熱改修プロジェクトを楽しみながら、建物の断熱と地球温暖化防止について多くのことを学ぶことが出来ました。

また白馬高校の生徒たちは、断熱改修を行う前から予算集めのため、地元企業や個人の住宅を回って資金集めを行っており、地元の多くの方々が、生徒（子供たち）の取り組みを心から応援している地域の「繋がり」を感じました。

(裏面へ続く)



改修工事前の教室

改修工事後

改修工事前の天井裏

改修工事後

生徒たち自身の手で天井裏に断熱材を敷き詰めます

壁に制作した木枠を取り付けます

木枠に断熱材のはめ込み塗装までしっかり行います

テレビの取材も入りました

断熱改修後の断熱性能や断熱費などの費用対効果について

令和3年1月〜2月にかけて、白馬村では新型コロナウイルス感染症警戒レベルが5となつてしまい、その後は入学者選抜等があり、学校関係者以外の立入りが禁止となり、断熱改修を行った教室と未実施の教室による正確な温度測定等が実施できずに終わってしまいました。ですがあるメディアの取材によると、改修後の教室の壁面温度が約3度上昇したとのことで、取り組みの成果は確実に現れているようです。

また費用面でも、一つの教室を通常の工事よりだいぶ安く、約150万円で断熱改修できたとのことでした。



その後、白馬・小谷地区の各学校では、『私たちの教室・学校も断熱改修したい』と子どもたちが温暖化防止活動に関し、自分たちから何とか活動を行っていききたい、といった声が多くあがっているようです。

城東地区・松本市内でも、子供たちの取り組みに参加できるような機会があれば、是非参加して世代を超えた『繋がり』と周辺地域・異業種の方々とも協力しあい、子供たち(生徒たち)の取り組みを応援するとともに、多くの方々と関わり、住みやすい地域になっていければと思っています。地域の課題や将来について、地域の方々が集まり意見を出し合ったり、いろいろな考えを知り合う活動例として、

- ①カードゲーム「2030SDGs」で世界と自分のつながりを知ろう
 - ②わたしたちの未来会議(未来のために、今できることを考えよう)
- などの講座メニューもあるため、まずは、地域の方々が集まり、地域のことに話し合える場を公民館活動として取り上げていきたいと感じています。

(佐藤)

無くなつてしまふものを守つていきたいもの

北上横田町会



北上横田町に限らないかもしれないですが、いろんなものが町から無くなつてきているように感じます。時代の流れといえ、そうなのでしょう。昔は良かったといえ、年寄りの独りよがりなかもしれないですが、いろんなものが消えていくのは、一抹の寂しさを感じます。

町からいろんなものが無くなつていくこと、人口の減少と高齢化は、目に見えてきているように思います。北上横田町周辺でもたばこ屋さ



昭和17年の町内ラジオ体操

んが2軒ありましたが、今は無くなつてしまいました。たばこ屋さんには死活問題ですが、その事以外にも後継者がいない事からも、たばこ屋さんが消えてしまったのではないかと思えます。

消えてしまったと思われるものはたばこ屋さんだけでなく、人や家も消えてしまったように思われます。昔の事を思うと、道には子ども達が遊んでいて、少し空き地があると野球をしたりして遊んだものですが、今は状況が違つてはいえ、全く見られない光景になつてしまいました。通り沿いの家々も、歯抜けのようになり、駐車場になつてしまつたりして、家も少なくなつてきています。

北上横田町で百歳体操を毎週水曜日の10時から40分ほど

行つていきます。始めてから2年弱ですが、当初より人数は少なくなり、新しく始めるといふ方もいないようで、参加される方は固定してきています。コロナ感染の広がりが他の要素もあるかと思いますが、町内の人が集まる機会が殆ど無い中で百歳体操が無くなる事のないように、魅力ある百歳体操に育つていってほしいと思います。

無くなつていったものばかり書いてきましたが、今更で無かつたのですが、最近になつて新しく見られるようになった事もあります。北上横田町には稲荷社があり、その鳥居の後ろに狐の石塔があります。ある時はお酒とお供えがずつとあがっています。このようにお供えをあげてくださる方に、深く感謝したいと思えます。ありがとうございます。稲荷社のご利益がありますように。

(川上)

